

## 本研究の貢献

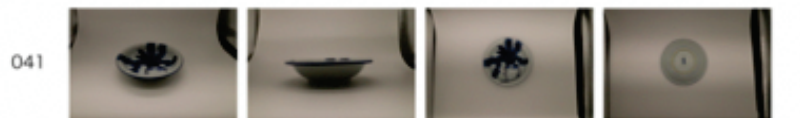
人が器を選択するプロセスを機械的に理解するためには？

- ◆ 器をデータ構造に落とし込み, 情報表現する
- ◆ 料理と器の関係性について分析, 対応付け

## 提案手法

## ◆ 器の情報表現

一般家庭の器100種類を対象に撮影と器属性の記録



dish_ID	サイズ				リム	底面	形状 全体	材質
	縦	横	高さ	深さ				
034	7.3	7.3	2.7	2	0	curve	豆皿	漆器
041	12.8	12.8	3.1	2.3	1.2	curve	取り皿	陶磁器
077	30.5	16.7	4.8	4	0	parallel	グラタン皿	陶磁器

- 模様 (内側, 外側) 文字, 幾何学模様, イラスト, キャラクター
- 色は写真からベースカラーを取得予定

## 今後の取り組み

- ・ 器情報とレシピ, 料理オントロジーの料理情報を対応づけ  
→ 料理の性質から, 料理に適した器を導き出せると期待

## 背景

盛り付けは, 料理単体の見た目だけでなく料理と器との組み合わせによって全体の印象が決まる

## 問題

料理知識や美的感覚を有していない人にとって適切な器を選択することは困難

## ◆ 楽天市場データセットを用いた料理と器の関係性分析, 対応付け



商品説明

こちらの大皿は深さがあるのでパスタやカレー、天津飯によく似合う♪

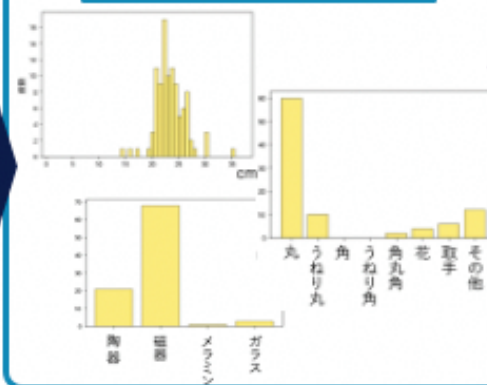
相性が良いとする

例: パスタ  
×100皿分収集

- ・ サイズ (縦, 横, 高さ)
- ・ 形状 (丸, 角など8分類)
- ・ 材質 (陶器, 磁器など4分類)

分布

## 典型的な器情報



比較

## 任意の器

- ・ サイズ 縦20cm, 横12cm  
高さ4cm
- ・ 形状 丸
- ・ 材質 磁器

## 相性を定量化

この器はパスタと相性〇〇%